

特集 編集部年末座談会

社会との「つながり」って…?

誰にも言えないけど、誰に言いつ?



「社会と首の皮一枚、つながっている状態です」。この誌面でコラム執筆を担当したことのある、ある通所者の言葉だ。家で過ごすことが多く、社会とのつながりを意識しづらくなっていったという。

「書いて自分と対話する」と。自分の思いを文章にする『さみしい夜にはペンを持って』（古賀史健・著）のなかで、一人ぼっちであることを悩んでいた主人公は、あるおじさんから、自分で自分と対話する方法を教わる。それは

「『書いて自分と対話する』こと。自分の思いを文章にする」と『ことばにならなかつた思い』が、かたちを持った考えに変わっていく。考えることで悩みを脱皮していくのだ。冒頭で紹介したコラム執筆。今では首の皮一枚どころか、大きなつながりを作ってくれている。彼女のコラムを読み、私も書きたいという人が一人、二人、三人と現れた。コラムを通じた自分との対話が人の心を動かし、つながりを作り出した。池田晶子氏が残した「他人を求めるより自分を索（もと）めるほうが、順序としては先」という見立ては正しかったようだ。

「社会と首の皮一枚、つながっている状態です」。この誌面でコラム執筆を担当したことのある、ある通所者の言葉だ。家で過ごすことが多く、社会とのつながりを意識しづらくなっていったという。

推しコメ(スイーツ編) (筆者:結城 雪)

モンブランティラミス



※細かいことを気にしないのが、自分で作る醍醐味

今回はなんと手作り!! レシピ本を参考にモンブランティラミスを作りました。モンブランなのにクリームが細く絞ってない?細かいことは気にしない(正直、面倒...)! 見た目は個性的ですが、味は本格派。そりゃあ、一日かかっちゃいましたからね…。

コラム「自問自答」 (筆者:ひみつ)

太宰治さん、人間失格を読了できなかった私をお許しください。あの有名純文学を読めない日が来るとは思ってもしなかつた。そんな自分に失格のレットルを貼りたい気分だ▼いや、そもそも読めなかつたくらいで自分を卑下することはない。またいつもの癖で自分を蔑んでしまった。元々は謙虚でいようと心がけていたのだが、いつしか謙遜しすぎてしまったようだ▼そんな中、一つの言葉が頭をよぎった。「行き過ぎた自虐笑えなさいすよね」お笑いコンビ「紅しょうが」の熊元プロレスさんが漫才の中で放った台詞だ。まさかお道化ることを生業とした芸人がこのボケを喰らわすとは思わなかつた。せっかくな生きていくのだから自分を卑下せずに、微笑ましい意味で心の底から笑ってもらえるような人間でありたい。そう思った▼そうして私は本を手取ることでだけでも素晴らしいと思うことにした。昨晩は睡魔に負け、本がアイマスクと化した。それもまた良しとしよう。

【気まぐれ欄】 今月のおすすめ本【Book Review】

※今月は読書好きメンバーによるおすすめ本の「書評」です。



『魔道祖師』
著者：墨香銅臭
出版社：フロンティアワークス
発行日：2021年5月27日

【評者：みなと】

古代中国を舞台に繰り広げられる転生ファンタジー。邪教を使い人々に災いをもたらした罪で討伐された主人公・魏無羨。しかし13年後、禁術によって現世へ蘇ってしまう。転生した魏無羨は怪事件に巻き込まれながら、自分が蘇った意味、13年前の真実を解き明かしていく。異世界転生ものでも一味違う、ファンタジーでもありミステリー、そして歴史ものでもある今作。中国が舞台のため聞き慣れない名前が多いが、自然と頭に入っていく。登場人物それぞれに人間ドラマがあり、物語は過去と現在が複雑に絡み合う。すべてを操る黒幕に、貴方はどこで気づくだろうか。



チャレジョブセンター熊谷

熊谷市桜木町1-7-9 武州熊谷駅前ビル3F

TEL: 048-578-8401 FAX: 048-578-8402

チャレジョブセンターHP

<https://challe-job.co.jp>

